

比青年が民族音楽披露

きょう行橋カトリック幼稚園で

日本人が設立した子供図書館の奨学金を受けて大学に通うフィリピン・ミンダナオ島のイスラム教徒の青年たちが6日午前10時半、行橋市門樋町

の行橋カトリック幼稚園で、民族楽器クリンタンを使った音楽と舞踊を披露する。日本にイスラム教やフィリピンの文化を紹介するために来日し

た。入場無料。同島のセントルーク大でコンピューター科学を専攻するアブドゥル・ナーサ・ホサインさん(25)ら6人。難民や貧



民族楽器クリンタンを組み立て、演奏の準備をするフィリピンの学生

困家庭の少年少女を預かる福祉・学習施設として、東京出身の元編集者、松居友さん(54)が03年に設立した子供図書館の支

援で大学に通い、館のボランティアスタッフ

としても活躍している。幼稚園を運営する行橋

カトリック教会(山元真神父)が館に寄付をし

ている縁で公演が実現した。

クリンタンは木琴と太鼓を組み合わせた民族

楽器で、継承者は少ないという。ホサインさん

は「結婚式などお祝

いの時に演奏し、小さな子は触れない神聖な楽器。エンジョイしてください」と来場を呼びかけている。

松居さんは「日本では

イスラム教徒はテロリストと関連付けられがち

で、大きな誤解を受けている。孤児であったり戦

争難民であったり貧困を抱えた若者たちだが、楽しく歌い、踊る姿を見て

ほしい」と話す。会場で図書館への寄付も受け付ける。同教会0930・

22・0805。

【降旗英峰】